

# 卒業生の勤務状況 ～公立村岡病院(兵庫県)～

兵庫23期 水守康之

# 兵庫県の派遣先 (=但馬地方)



現在卒業生の派遣先は  
但馬地方のみ※。  
9つの公立病院全てに  
義務年限内外の  
県養成医師が勤務。  
(※淡路島内は充足され、  
平成18年より家島診療所の  
派遣もなくなったため。)

# 公立村岡病院



兵庫県のへき地病院の  
なかで最も自然に  
囲まれた病院です。  
窓の外にはホタルや  
クワガタが飛び交います。  
年に1回ほど熊外傷に  
遭遇します。



↑ ベランダについたクワガタを  
しばしばナースが捕獲します。



病床は50床です。急性期も診ますが、中核病院から在宅への橋渡しなどの慢性期の医療が中心です。

現在内科医2名、外科医1名ですが、昨年より内科・外科の区別を廃止し、総合診療科のみとなっています。外来では、高血圧や糖尿病の診察のあとに、引き続いて膝の関節注射や腰のトリガーポイントブロックなどを行うこともしばしばです。



村岡病院はサテライトの診療所を  
4つ持っています。  
(左は兎塚診療所。ハチ北という  
スキー場の入り口にあります。)

針治療なども行います。(下)  
(さすがに頻度は減っています)





冬



夏



訪問診療。  
向う途中で出会うと、  
外での診察を頼まれ  
ることもあります。



往診(訪問診療)中の風景。  
祖岡へき地出張診療所は豪雪地帯の  
村岡でもさらに雪深いところです。



検査風景。上部、下部ともかなりの件数があります。写真は経口ですが、現在はほとんど経鼻内視鏡で上部消化管内視鏡検査を行っています。「楽だった」との口コミで他の地域からも受けにこられます。

病棟ではNPPVの導入なども行っています。  
気管切開・在宅人工呼吸を導入して、3年になる方もいます。



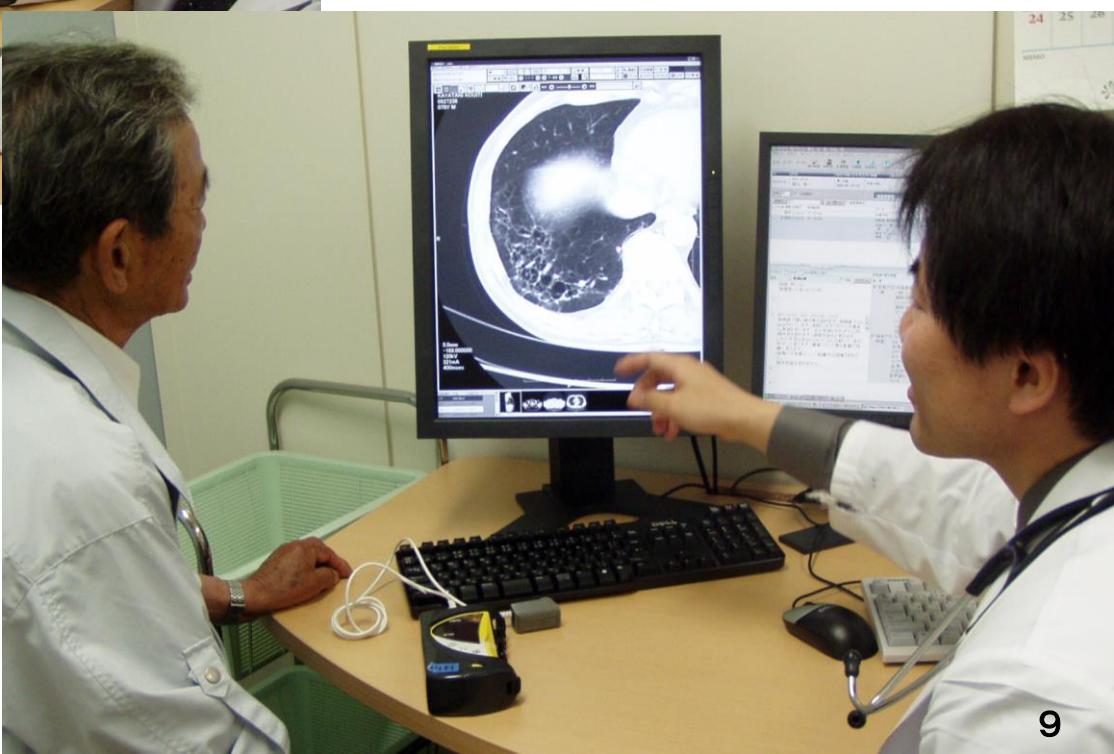


毎週木曜日には村岡から車で国道を30分ほど南に下ったところにある  
**公立八鹿病院**で外来(呼吸器外来)をしています。  
結核病床やリハビリ病棟(兵庫県で最初)、ホスピス病棟も備えています。  
スタッフが優秀で親切なため、とても働きやすい病院です。  
しかし医者不足は深刻です。



診療所との業務のギャップは  
相当なものです。  
平成19年1月より  
電子カルテ化されており、  
過去の記録や写真が  
他科も含めて検索できます。  
非常に便利です。  
(ただし紙カルテも災害に  
強いので好きです。)

高精細ディスプレイで患者に  
CTを拡大して説明します。  
「ワシャ難しいてわからん。」と  
いう言葉が、「ほう！なるほど。」  
にかわりました。





八鹿病院には64列マルチスキャンCTなど最新機器がそろいます。  
生検例ではバーチャル気管支鏡(CTから再構成)で標的気管支を  
確認してから、実際の内視鏡を行うことで患者の負担を減らしています。

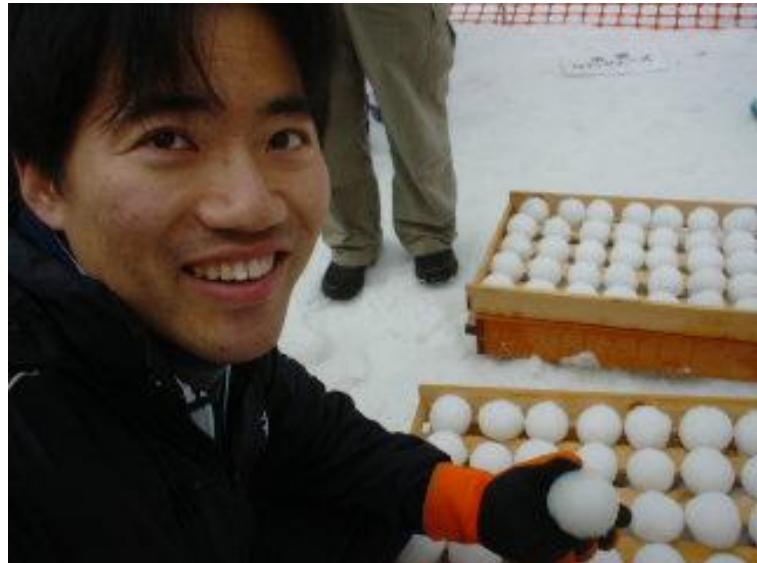


## 公立村岡病院夕涼み会

村岡病院では、毎年7月に夕涼み会をひらき、患者の前で職員が芸をします。化粧傘で踊っているのはナース。私も大道芸をしました。(左下)患者さんも家族も大喜びです。



雪合戦(全国大会予選)に  
薬剤師+放射線技師+医師+PTの  
チームで参加しました。  
(残念ながら二回戦敗退。全国ならず。)  
チームワークで地域の医療を守ります。



村岡は駄田舎ですが、スキーチャンスまで10分。  
スキーや自然が好きな人には  
いいかもしれません。



同僚の高部医師と病院の近くで。